

2019
10
Vol.
520

高岡市医師会報

Takaoka City Medical Association Bulletin



Contents

理事会第10・11回	2	地域保健だより・病診連携室	8
委員会報告	4	高岡市急患医療センターだより	9
産業保健だより	4	寄稿「墓地で珍事が」	10
公的病院だより（JCHO 高岡ふしき病院）	5	訪問看護ステーションだより	11
寄稿「済生会高岡福祉・保育総合センターの紹介 —持続可能な「まちづくり」—	6	市医のあゆみ	12
会員の動向	7	予定表・編集後記	14

(理)(事)(会)(報)(告)

第 10 回 (令和元年8月28日)

協 議

- 1) 第 506 回高岡市内科医会学術講演会の後援について
後援することを了承。
- 2) 県外からの転入予定者への医師信用組合組合員資格付与の是非について
当会は反対しないことを了承。
- 3) 北日本新聞救急の日の広告について
9月14日開催の救急医療市民フォーラム参加の案内も含め掲載することを了承。
- 4) 令和元年度死体検案研修会の参加について
希望する役員の参加を認めることを了承。
- 5) 「会員の為の日医 IT フェア」について
開催に関して提案があれば受け付けることを確認。
- 6) 第 41 回産業保健活動推進全国会議の参加について
医師・職員が参加する方向で、担当理事に一任することを確認。
- 7) 市政に対する要望について
提出された案を一部訂正して高岡市に提出することを了承。

報 告

- 1) 委員会報告
・ 8 / 20 乳幼児学校保健(心臓検診)委員会
- 2) 諸会議報告
・ 8 / 22 高岡地区救急医療対策協議会
・ 8 / 26 救急体制を検討する会
- 3) その他
・ 7 / 28 在宅医療市民シンポジウム
・ 8 / 22 個別指導の立会
・ 開催予定
10 / 9 (水) 多職種事例検討会
11 / 1 (金) 摂食嚥下研修会
・ 会員の動向

❧ 表紙のことば

戸出伊勢領よろザクリニック 上田内科医院 上田 芳彦

砺波市で毎年秋に開催される熱気球の大会「スカイフェスとなみ」です。
令和元年度の開催期間は、10月12日から14日までです。
全国各地から熱気球チームが参加して砺波野の秋の爽やかな空を彩ります。
一度乗って上空からの写真を撮ってみたいものです。

理 事 会 報 告

第 11 回 (令和元年9月13日)

協 議

- 1) 9月定例会について
9月27日(金)に開催する定例会について、以下のとおりお知らせすることを了承。
ア 会員の動向
イ レクチャー
ウ 保険診療について
エ その他
- 2) 令和元年度高峰譲吉博士顕彰会加入の継続と会費の納入について
例年のとおり、会費3,000円を拠出することを了承。
- 3) 令和元年度高齢者インフルエンザ予防接種について
期間：令和元年11月1日より令和2年1月31日まで、委託料：4,600円(自己負担額1,600円)については了承するが、委託料の積算方法については了承しかねることを高岡市に伝えることを確認。
- 4) 高岡市環境審議会委員の推薦について
成瀬隆倫先生を推薦することを了承。
- 5) 高岡市小児生活習慣病予防対策協議会委員の推薦について
宮崎あゆみ先生を推薦することを了承。
- 6) 医療事故調査制度に係る「管理者・実務者セミナー」について
希望する役員の参加を認めることを了承。
- 7) 令和元年度日本医師会医療情報システム協議会の開催について
希望する役員・職員の参加を認めることを了承。
- 8) 令和元年度高岡市市民共創チャレンジ事業「老いても病んでも高岡で」の後援について
後援することを了承。
- 9) 「第37回富山県駅伝競走大会」プログラム掲載について
プログラムに救急医療機関として、高岡市急患医療センターが掲載されることを了承。
- 10) 救急医療市民フォーラム録音依頼について
視覚障害者支援団体「つるばみの会」が録音したものを編集し配布することを、当会と発表者の確認を得た上で行うことを了承。
- 11) 介護施設へのアンケート調査結果の掲載と配布について
介護施設への配布と会報への掲載を了承。
- 12) 市政に対する要望の事前説明について
会長および希望する役員が、9/25(水)13:30～福祉保健部長に対して、9/26(木)16:00～こども・子育て課、高齢介護課、保険年金課、学校教育課、健康増進課に対して行うことを確認。

報 告

- 1) 諸会議報告
 - ・ 9/7 第28回全国医師会共同利用施設総会
 - ・ 9/9 富山県医師会 特定検診・がん検診委員会
- 2) その他
 - ・ 開催予定
 - 10/28(月) 胃がん検診研修会
 - 12/3(火) 緩和ケアグループワーク
 - ・ 会員の動向

委 員 会 報 告

●がん検診委員会 令和元年8月27日

 担当理事 寺 崎 禎 一
 副担当 民 野 彰 均
 副担当 堀 彰 宏

	胃がん検診		大腸がん 検 診	前立腺がん 検 診		肺がん検診
	X線	内視鏡				
受 診 者	45名	522名	1,674名	19名	受 診 者	1,976名
異 常 な し	34名	462名	1,550名	18名	精 検 不 要	1,858名
要 観 察	6名	0名			再 検 査	0名
要 精 査	5名	60名	124名	1名	要 精 検	118名
二次精密検査受診者	4名	12名	69名	1名	精密検査受診者	82名
が ん 症 例	0名	4名	4名	0名	が ん 症 例	2名

7月のがん症例は、胃がん4名(内視鏡)、大腸がん4名、肺がん2名でした。

産業保健だより

担当理事 杉森 成実

高岡地域産業保健センターでは、令和元年10月は下記のとおり活動を行います。
 高岡市医師会で行う健康相談は予約制です。働く人への周知方ご協力をお願いいたします。

1 健康相談

実 施 日	時 間	場 所	担当相談医
10月10日 木	13:00 ~ 14:00	高岡市医師会	北野 隆利
10月13日 日	10:00 ~ 12:00	新湊漁港(東地区)	保健師 溝口 里美
10月24日 木	13:00 ~ 14:00	高岡市医師会	林 治朗

2 個別訪問産業保健指導(職場巡視)

実 施 日	時 間	事業所の事業内容	担当相談医
10月2日 水	13:00 ~	化学製品製造業	越田 英夫
10月3日 木	13:00 ~	鋳造業	小関 支郎 民野 均
10月9日 水	13:00 ~	地質調査・埋蔵文化材調査	宇野 義知 寶田 茂
10月23日 水	13:00 ~	コンクリート二次製品製造業	福澤 安洋 宮島 久仁
10月30日 水	13:00 ~	空中写真撮影、測量等	寺崎 禎一
10月31日 木	13:00 ~	製造業	上田 芳彦 炭谷 哲二

公的病院だより (JCHO 高岡ふしき病院)

CPC:アミロイドーシスの1例

名誉院長・糖尿病センター長 加藤 弘巳

当院は毎月第2火曜日午後7時から登録医症例検討会を行い、ご紹介いただいた症例をプレゼンしてその転帰を報告している。毎回ミニレクチャーも行っているが、9月10日(火)には富山大学附属病院病理部の南坂尚先生をお招きしてCPCを行ったので、略述したい。症例呈示は和田攻副院長が行った。

<症例> 80代 男性

【主訴】左片麻痺 意識障害

【家族歴】略

【既往歴】高血圧・糖尿病・静脈血栓症など

【現病歴】

X-5年に心房細動を発症、X-4年には心不全で入院。心エコー上は、前壁中隔基部の壁運動低下、心嚢水を認めLVEF低下、BNPの上昇を認めた。X-3年には、左室はびまん性に壁運動が低下し拘束性拡張障害を認めた。様々な治療を行うもBNP高値が続き、難治性であった。X-2年当時のECGでは、心房細動・前壁誘導R波減高・肢誘導低電位・wide QRSの異常所見を(図a)、心エコー上、心肥大、心房拡大、拡張障害、心室中隔のAsynchronyを認めた(図b)。X-1年、他院での心筋生検で、心アミロイドーシスと診断された。その後、下肢動脈塞栓症を発症したが、杖歩行60m可能な状態で退院した。しかし徐々に食欲不振、体重減少、倦怠感が強くなり、約3カ月後のX年早朝、左片麻痺出現し救急車にて来院。脳塞栓と診断され、緊急入院となった。

【入院時現症】

意識：1ケタ、左片麻痺・構音障害を認めた。心音は不整、呼吸音に異常なし。

【入院時検査所見】

頭部MRI：右内頸動脈閉塞。右MCA-PCA分水域の脳塞栓と診断。採血では腎機能低下とD-dimer上昇、BNPの著明な上昇等を認めた。

【入院後の経過】

脳梗塞、心不全治療を併せて行うも、改善なく徐々に意識レベル低下。2カ月後永眠。

<病理診断への要望>

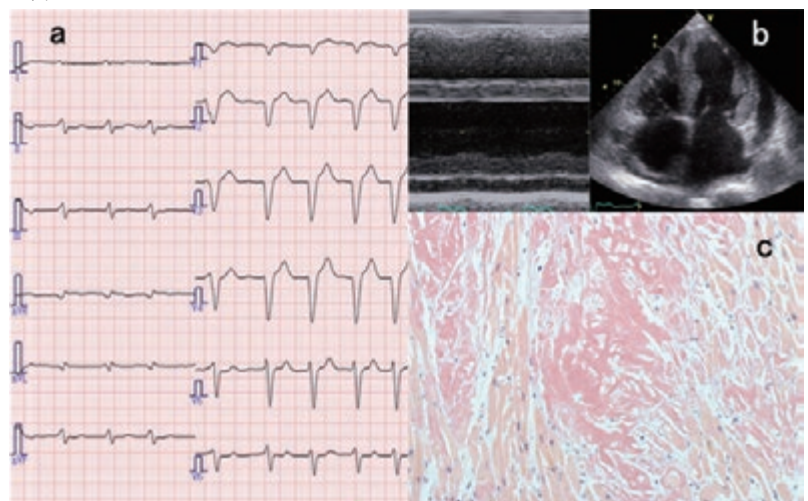
アミロイドーシスの病型分類と全身への波及状況、および心不全の原因となった心病変の程度。

<病理解剖診断>

心臓は球状に肥大して690gと高度な重量増加が認められ、組織学的には、心筋にCongo-red染色による斑状のアミロイド沈着が多発し(図c)、蛍光顕微鏡でアップルグリーンの偏光を確認。肺胞隔壁、前立腺内の血管壁、全身の小血管壁にアミロイドの沈着を認めた。腎・消化管への沈着認めず。

《診断》全身性アミロイドーシス

ATTR型またはAL型：アミロイドP(+), アミロイドA(-), トランスサイレチン(-)



< Discussion >

主治医からは、心アミロイドーシスの診断に至った ECG（心房細動・前胸部誘導の R 波減高・wide QRS）と心エコー像（拡張障害・心房拡大）の呈示、解説があった。また、病理医から詳細な所見が呈示され、症例のような老人性アミロイドーシスが増えているとの解説があった。透

析アミロイドーシス、多発性骨髄腫や家族性の他、以前は結核や関節リウマチ等慢性炎症に伴う症例が知られているが、今回の症例では老人性アミロイドーシスという新たな病態を学んだ。アミロイドーシスに起因する老人性多発性ニューロパチーも増えているとのコメントもあり有意義な CPC であった。



済生会高岡福祉・保育総合センターの紹介 —持続可能な「まちづくり」—

富山県済生会高岡病院 院長 野田 八 嗣



わが国では、人口減少・少子・超超高齢社会がますます進み、消滅可能性都市という言葉まででてきております。昨年度1年間で人口は43万人減少し、今後更に減少が進み、1年で一つ県が無くなる位の勢いとなります。わが国のこのような急な人口減少を来した原因は、元岩手県知事で元総務大臣の増田寛也氏の著書「地方消滅—東京一極集中が招く人口急減」（中公新書）に詳しく記載されていますが、合計特殊出生率が全国で一番低い東京に若い人たちが集中したことによると考えられています。

富山県では、IJU 政策を推し進めていますが、高岡市では、今後、少子化と人口減少はさらに進み、また、高齢化率は全国平均より5%程度高く2025年には35%を超えると推定されていま

す。このような中、高齢者や障害者の医療・福祉を守り、健康寿命をどのようにして延ばすか、少子化と働き手不足に対し、仕事をしながら子供を産み育てやすい環境をどう整えていくかは、まちづくりにとって、重要な課題と思われま

す。当院では、昨年10月に高岡市と子育てや健康づくり、介護、保健、福祉を一体的に推進するための包括連携協定を締結しました。その一環として、令和元年5月1日より、高岡市と高岡市医師会はじめ関係の皆さまのご協力により、旧高岡市医師会・看護専門学校跡地を活用し、済生会高岡福祉・保育総合センターを開設いたしました。同センターでは、高齢者の医療・福祉の観点から、訪問看護ステーション・訪問リハビリ



テーション事業所を設置し、院内の医療ソーシャルワーカー（MSW）や済生会本部で5日間の講習を受けた地域包括ケア連携士3名も加わり、地域の診療所・福祉施設・ケアマネジャーの方々さらには高岡市とも連携し、高岡市南部地区の地域包括ケアシステム推進に貢献して行きたいと考えております。健康寿命延伸については、来年度より、定期的な健康体操や健康講座を予定して参ります。

働く親御さんの子育て支援としては、病児保育を有する認可型の地域開放型事業所内保育所「済生会高岡なでしこ保育園」を開設しました。生後6ヶ月から3歳未満児が対象で、公立の保育所とは異なり朝7時30分から夜9時までと長時間預かることが可能で、また、平日の一時預かりや夜勤の親御さんのために週一度お泊り保育も実施いたします。病児保育は、定員6名で、小学6年生までが対象で、経験豊富なベテラン看護師と当院小児科医が対応します。実績については、9月までに園児は23名で、内訳は当院職員の園児が7名地域の園児が16名、一時預かりおよび病児保育については、8月23日までの延べで、それぞれ105名と87名となっており、今後さらに増えると思っております。

また、本年5月9日に、済生会本部は、イオンモール本社と未来に向けた持続可能な「まちづくり」で協定を締結しています。持続可能なまちづくりは、2030年までに世界が合意した持続

可能な発展目標（SDGs）17項目のうち「住み続けられるまちづくり」として11番目に掲げられています。SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

当院では、令和元年6月1日に済生会本部の指導の下、イオンモール高岡と①健康づくり、生きがいづくりに関する取組み②地域住民の交流を促進する取組み③子ども、高齢者、障害者等の地域社会への参加の取組み④共同イベント開催、情報発信に関する取組み⑤地域の環境に配慮した取組み⑥災害対策等安心して暮らせるまちづくりに関する取組みなどで覚書を結びました。今後は、行政としての高岡市のみならず民間企業であるイオンモール高岡とも連携し、人口減少・少子・超超高齢社会がますます進む高岡市において、未来に向けた持続可能な「まちづくり」に少しでも貢献できればと思っております。今後とも、高岡市医師会ははじめ関係の皆さまのご理解とご支援そしてご協力を宜しくお願い申し上げます。

会員の動向

入会

月日	種別	氏名	科目	病・医院または勤務先
8/1	B3	むらた のりやす 村田 憲保	臨研	済生会高岡病院

退会

月日	種別	氏名	科目	退会の事由
7/31	B2a	しょうじやく ひろこ 將積 浩子	放	済生会高岡病院から富山大学附属病院へ
8/4	A	たなか とよなり 田中 豊也	整	逝去

地域保健だより

担当理事 酒井 成

◇ 10月の地域保健・医療事業への協力について

・母子保健事業

内 容	実施日	出 向 医 師 名		
		小 児 科		整 形 外 科
3か月児健診	10月10日(木)	清水 道郎	辻 春江	高岡市民病院
	10月24日(木)	荒井 邦美	粕井 正春	済生会高岡病院
1歳6か月児健診	10月1日(火)	窪田 博道	市村 昇悦	/
	10月8日(火)	上勢敬一郎	仲岡佐智子	
	10月15日(火)	小栗 絢子	山元 純子	
3歳児健診	10月9日(水)	佐久間友子	和田 直樹	
	10月16日(水)	市村 昇悦	辻 隆男	
	10月23日(水)	斉藤悠紀子	辻 隆男	
幼児保健相談	10月11日(金)	水上亜希子		
未熟児発達相談	10月3日(木)	荻野千鶴子		

病診連携室

担当理事 酒井 成

◇オープン病床の利用率について

	5月	6月	7月	8月
高岡市民病院	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
厚生連高岡病院	27.7%	36.0%	25.8%	10.3%
済生会高岡病院	6.5%	16.1%	22.0%	37.1%
JCHO高岡ふしき病院	39.0%	83.0%	45.0%	11.0%

◇れんけいネット利用状況について

高岡市民病院	5月	6月	7月	8月
カルテ参照登録患者数	6名	12名	17名	8名
予約患者数	33名	44名	61名	43名

厚生連高岡病院	5月	6月	7月	8月
カルテ参照登録患者数	43名	42名	41名	42名
予約患者数	103名	114名	131名	93名

済生会高岡病院	5月	6月	7月	8月
カルテ参照登録患者数	7名	9名	9名	5名
予約患者数	24名	24名	34名	24名

高岡市急患医療センターだより 担当理事 泉 祥子

8月、お盆の受診患者数について

8月の受診患者数は、2,061人で、お盆の週について見てみますと、11日・12日の連休については210人・220人の受診がありましたが、15日・16日については、市民病院などの公的病院が診療を行っていたこともあり、201人・153人の患者数となっています。

累計患者数については、10,568人であり、前年度に比べ865人の増で、診療科別の患者数では、内科は3,711人(272人増)、小児科は4,179人(309人増)、外科は2,678人(284人増)でした。診療科の構成比率を見ると、内科は35.1%、小児科は39.5%、外科は25.4%となっています。出向医の先生方におかれましては、今後とも高岡医療圏の救急医療体制を維持するため、当センターの診療業務に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。(文責 朴木 剛)

時間帯別受診患者数

令和元年8月(単位:人)

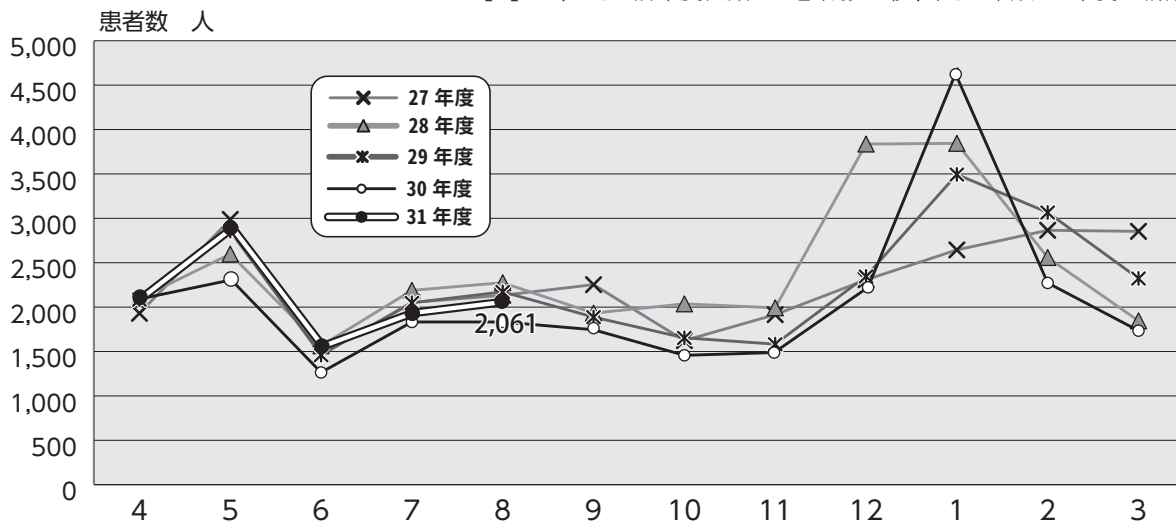
月別	時間帯別	内科			小児科			外科			合計			転送患者数			
		初診	再診	計	初診	再診	計	初診	再診	計	初診	再診	計	二次病院			他院
														診療科	本人	救急車	
31年度 8月	午前	137	10	147	157	9	166	107	12	119	401	31	432	内	48	2	6
	午後	128	8	136	143	8	151	126	7	133	397	23	420	小	19	1	2
	夜間	427	14	441	390	21	411	349	8	357	1,166	43	1,209	外	16	1	13
	合計	692	32	724	690	38	728	582	27	609	1,964	97	2,061	合計	83	4	21
31年度 4~8月	午前	789	56	845	855	62	917	423	62	485	2,067	180	2,247	内	236	13	24
	午後	724	33	757	841	52	893	567	38	605	2,132	123	2,255	小	73	4	4
	夜間	2,036	73	2,109	2,242	127	2,369	1,536	52	1,231	5,814	252	6,066	外	79	3	67
	合計	3,549	162	3,711	3,938	241	4,179	2,526	152	2,321	10,013	555	10,568	合計	388	20	95
30年度 4~8月	午前	664	17	681	737	30	767	379	37	416	1,780	84	1,864	内	184	10	36
	午後	644	29	673	736	50	786	468	22	490	1,848	101	1,949	小	80	3	4
	夜間	2,025	60	2,085	2,193	124	2,317	1,454	34	1,488	5,672	218	5,890	外	66	3	37
	合計	3,333	106	3,439	3,666	204	3,870	2,301	93	2,394	9,300	403	9,703	合計	330	16	77

月別受診患者数の推移

(単位:人)

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	年間前年度比
27年度		1,932	2,884	1,518	2,043	2,115	2,223	1,656	1,919	2,272	2,575	2,774	2,763	26,674	0.4%
28年度		2,082	2,533	1,603	2,165	2,243	1,934	2,028	1,988	3,648	3,655	2,498	1,856	28,233	5.8%
29年度		2,072	2,766	1,509	2,039	2,150	1,894	1,684	1,620	2,307	3,340	2,955	2,286	26,622	△5.7%
30年度		2,077	2,267	1,409	1,973	1,977	1,937	1,540	1,597	2,302	4,554	2,295	1,752	25,680	△3.5%
31年度		2,110	2,905	1,556	1,936	2,061								10,568	-
内 訳	内科	759	1,151	525	552	724								3,711	[+272人] [35.1%]
	小児科	875	1,072	588	916	728								4,179	[+309人] [39.5%]
	外科	476	682	443	468	609								2,678	[+284人] [25.4%]

※ [] は、上段:前年度同期との患者数比較、下段:平成31年度の構成比率。





墓地で珍事が

宇野内科医院 宇野義知

6月末に、お盆前に墓地の雑草の状況はどうかと下見に行き驚いた。お墓に隣接する傾斜地が、まるで耕運機で粗掘りしたような状態で、いつもの雑草もなく、又、墓石や側壁の構造物の上に泥の固まりが数多く撒き散らされ、その汚れ方はひどい。殆んど雨も降らないので清掃をどうしようかと思案。どうも猪の仕業のようだ。広い墓地のあちこちで土が掘り起こされていたので、間違いなく猪だろう。一家

揃ってせっせと土を掘り起こして、草の根っこでも食べていったのだろう。いつもは



やっかい物にしていた頑固な葛の根っこが、ずたずたにされてむき出しになっているではないか。猪の牙と鼻で掘り起こす強大な力に感服した次第。

8月13日早朝墓参り。ここで亦々不思議な光景を見た。お参りを済ませて暫くお墓の前で休んでいた。何時この中に入るのだろうか。心の準備はできている。子供がその後の墓守をするのは大変だろうな。一寸大きな墓を作ったので、後始末に苦労するだろうと、「ぼーっ」と周囲を眺めていた。

その時鳥が1羽、墓の上に止まり、周囲をキョロキョロ見廻していたが、その中、下へ降りてきて、火を消したローソク銜えて墓の上に持っていった。再び降りてきて2本目のローソクを口の中へ入れて崩しているような仕草をしている。「成る程」

と合点がいった。実は昨日子供が墓参りに来ていた。そして粉々になった白い物質が線香の横に散らばっていたのだ。白い物質はローソクだったのだ。

そうこうしている中にローソクを一本銜えて飛び立っていった。又、どこかの屋根の上にも運んで遊んでいるのだろう。ゴルフ場で、ゴルフの球を銜えて飛んでゆくのを見たことがあったが、鳥は色んなものに興味を示し、遊びの道具にしているのではないか。頭が良くて面白い性格の持ち主なのだろう。



訪問看護ステーションだより 担当理事 吉田耕司郎

訪問看護ステーションです。先日、ハラスメント対策研修会に参加しました。

訪問看護は、1時間前後の滞在時間内で、利用者さんやご家族と、良好な関係を保ちながら、看護を提供するサービスです。しかし最近では、家族背景の変化もあり、理想の関係が築けない場合も、まれにあります。

今回、研修の中で、ハラスメントに関する実態調査の報告がありました。訪問看護の場合、物を投げつけられる、叩かれる、殴られる、噛みつかれる、つねられるなどの身体的暴力の経験者が45%、理不尽な要求を繰り返される、威圧的な態度をとられる、状態悪化を看護師のせいとされる、料金を支払わない、予定時間以上に拘束される、侮辱する言葉をかけられるなどの精神的暴力の経験者が62%、セクシュアルハラスメントの経験者が53%となっていました。

思ったより多い数字ですが、確かに、そのような体験はあるのです。

発生要因は「認知症や精神的疾患又は障害」「性格や生活歴」「サービスが理解されていない」などです。

以前、当ステーションも精神的に不安定な介護者さんからハラスメントをうけたことがあります。乱暴な態度やきつい言葉、急に大声を出されたり、看護師を指定されたりと担当看護師は恐怖を感じました。『自分達が大袈裟に思っているのではないか』とも感じました。

主治医の先生、市、地域包括支援センター担当者、ケアマネジャーも集って、何度も話し合いました。予定された訪問は、2人対応で切り抜けたのですが、時間外の緊急コールが多く、『調子が悪そうだから来て欲しい』と要請があると、電話当番は断れません。夜中1人で行くしかありません。記録に残すためボイスレコーダーをポケットに忍ばせて行ったこともありました。そのケースは結局在宅生活が継続できなくなりました。

現在は、暴力などのケースはありませんが、利用者本人や家族の態度や言葉に傷つくこともあります。

そんな時看護師は、『自分が嫌な思いをしても、頑張ってケアしなければいけない。自分が未熟だから悪い。誰も理解してくれない。』と考え、抱え込んでしまう傾向もあるようです。

先日、70歳代前半の独居の男性、Sさんの初回訪問の時、緊張もあったのか、Sさんは一生懸命喋られました。

「どうせなら若い看護婦さんにして。学生さんも来ることあるの？それなら女子で。」と。Sさんは少しやんちゃなタイプ？「大丈夫ですよ。とりあえず、Sさんより若い看護師ばかりです。気持ちも若いし、力持ちばかりです。学生さんは、最近男の子も多くて、選べません。ぜひSさんに学生さんを鍛えてもらいたいですねえ。」「そうかあ。やっぱりねえ。ちょっと言ってみただけだよ。」と。そして一緒に笑いました。

私達は日頃、1人で出向き、密室の中でケアします。利用者さんや家族と、かなり深い話をすることもあります。身体も心も不安定で、不安や孤独、苛立ちなど、複雑な感情でどうしてもなく混乱されることもあります。私達は、その人に向き合って、痛みや辛さを聞いて、触れて、看ることが仕事だと思っています。そこに暴力や心の壁があったら、何もできません。

ハラスメントについては、日頃の業務内で、あまり意識していなかったかもしれません。もしかしたら無意識に蓋をして、気付かないふりをしていたのかもしれません。

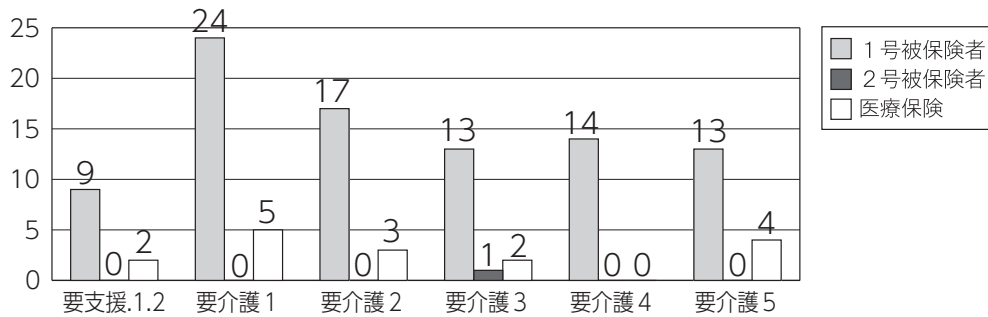
対策について研修でグループワークをしました。その中で、まず、看護師の安全確保、事業所での対策を明確にする、契約書に明記する、話しやすい職場にする、場所・時間・人を変更してみる、などの意見が出ました。

ハラスメントは、人によって受け止め方が違います。キャリアや、年齢、性格などによって感じ方は違います。狙われやすいのは、新人で、若くて、無抵抗で、正義感が強いタイプだとのこと。(今の自分達？が失ったものばかりかもしれません。)

私達へのご意見も、悪質なクレームなのか、本当のクレームなのか、見極めることが大切です。それを

チャンスと思い、真剣に対応することで、より良い関係になったらいいなあと思います。ちょっと、頭が固くなりました。ともかく、肩の力を抜いて、普段着の気持ちで訪問できるよう、ハラスメント対策を、若くても、若くなくても、みんなで考えていこうと思いました。 (文責 野田 美加)

● 8月の実績 (令和元年8月1日～31日)



	介護保険対象者		医療保険対象者
	65歳以上	40～64歳	
男性	37名	0名	10名
女性	54名	1名	16名
合計	91名	1名	26名

訪問回数
 介護 471回
 医療 229回
 合計 700回

合計 118名

* 市医のあゆみ *

- 8月16日 盆休
- 19日 厚生連高岡病院・医師会症例検討会
多職種事例検討会ワーキング
- 20日 胃がん内視鏡検診読影会
乳幼児学校保健(心臓検診)委員会
- 21日 肺がん検診読影会
- 22日 介護保険主治医研修会三市打合せ会
- 26日 産業医研修会
救急医療体制を検討する会
摂食嚥下研修会小ワーキンググループ
- 27日 がん検診委員会
胃がん内視鏡検診読影会
- 28日 肺がん検診読影会
理事会/総務委員会
- 9月2日 急患医療センター管理運営小委員会
- 3日 在宅医療談話会/ドクターネットかたかご会
胃がん内視鏡検診読影会
- 4日 肺がん検診読影会
市民フォーラム打ち合わせ
- 5日 緩和ケアグループワークワーキング
- 6日 介護保険主治医研修会
- 7日 全国医師会共同利用施設総会
- 8日 済生会高岡病院症例検討会
働き方改革セミナー
- 10日 診療報酬明細書受付締切
JCHO高岡ふしき病院症例カンファレンス
胃がん内視鏡検診読影会
- 11日 肺がん検診読影会
呉西消化器疾患談話会
- 13日 理事会
- 14日 救急医療市民フォーラム
- 15日 高岡医師グリーン会
役員旅行

いししん 住宅ローン

3大疾病および8大疾病特約を付保できます

- これからマイホームを購入したい方
 - お借り換えをお考えの方
- いずれの方も歓迎します、是非ご相談ください。



保証料・手数料
不要です!

ご融資金額	1億円以内
ご融資期間	35年以内
ご融資利率	変動金利 0.95%
	5年期間固定 0.85%
	10年期間固定 1.05%
	(3大疾病および8大疾病特約付保は0.2%上乗せ)
ご返済方法	元金均等・元利均等(ボーナス併用可)
担保	購入物件に抵当権を設定させていただきます 火災保険に質権を設定させていただきます
申込時の必要書類	(資金用途に関する書類) 見積書、契約書等 (収入に関する書類) 過去3期分の確定申告書(控)または源泉徴収票 (担保に関する書類) 不動産登記簿謄本 公図 測量図等 (その他) 他行借入の返済予定表等
備考	お借入の際は当組合に加入していただきます 8大疾病補償付債務返済支援保険の補償内容に つきましては当組合までお問合せください。

お気軽にご相談ください。お待ちしております。

さわやか医信 みんなのきずな

富山県医師信用組合

<http://www.toyamadcu.co.jp/>

〒939-8222 富山県富山市蜷川336番地
TEL 076-429-6272 FAX 076-429-6467

10月の予定表

日	予定事項	時刻	場所
1日(火)	ドクターネットかたかご会 胃がん内視鏡検診読影会	19:30	当会
		19:30	当会
2日(水)	在宅医療連携委員会 肺がん検診読影会	19:30	当会
		19:30	当会
4日(金)	急患医療センター管理運営小委員会	19:30	急患医療センター
8日(火)	JCHO高岡ふしき病院症例カンファレンス 臨床検査委員会 胃がん内視鏡検診読影会	19:00	JCHO高岡ふしき病院
		19:30	当会
		19:30	当会
9日(水)	多職種事例検討会 肺がん検診読影会	19:30	当会
		19:30	当会
10日(木)	診療報酬明細書受付締切 医療安全・感染症対策委員会	10:00	当会
		19:30	当会
11日(金)	理事会	19:30	当会
13日(日)	高岡医師グリーン会 健康相談(新湊カニかに海鮮白えびまつり)	7:50	高岡カントリークラブ
		10:00	新湊漁協
15日(火)	胃がん内視鏡検診読影会 小児科医会講演会	19:30	当会
		19:30	当会
16日(水)	訪問看護ステーション事例検討会 高岡市民病院・医師会合同症例カンファレンス 緩和ケアグループワークワーキング 肺がん検診読影会	13:30	地場産センター
		19:00	高岡市民病院
		19:30	当会
		19:30	当会
18日(金)	定例会	19:30	当会
20日(日)	会員及び会員家族懇親会		
21日(月)	厚生連高岡病院・医師会症例検討会 胃がん内視鏡検診読影会	19:00	厚生連高岡病院
		19:30	当会
23日(水)	肺がん検診読影会 理事会/総務委員会	19:30	当会
		19:30	当会
28日(月)	がん検診研修会	19:30	当会
29日(火)	がん検診委員会 胃がん内視鏡検診読影会	19:30	当会
		19:30	当会
30日(水)	肺がん検診読影会	19:30	当会

発行所
高岡市医師会
〒931-0002 高岡市下関町四番五十六号
電話(〇七六六)二五七七〇六〇

発行人
高岡市医師会会長
藤田 一

印刷所
有限会社
米島印刷

編集後記

4年に一度のラグビーワールドカップ2019が、いよいよ9月20日の日本 vs ロシアを皮切りに始まる。注目している選手は我が日本代表のスピードスター福岡堅樹である。爆発的なスピードが持ち味で50m 5秒8の超快速ウイングである。福岡は一浪の末、筑波大学情報学群へ進学しラグビー部へ入部。大学1年時からレギュラーで、大学選手権準優勝にも貢献した。前回のワールドカップでも日本代表で活躍した今大会期待の選手である。しかし、来年の東京オリンピックを最後に現役を引退し、もう一つの夢である医師を目指すようである。祖父が医師、父が歯科医師という環境で育ったため以前から医学部受験を考えていたようである。今回のワールドカップで活躍し、来年の東京オリンピックで有終の美を飾って欲しい。ワールドカップメンバーでオリンピックが我々医師の仲間になるなんて考えただけでも素晴らしい!

(T. H)

高岡市医師会

ホームページアドレス <http://www.takaoka-med.org/> Eメールアドレス office@takaoka-med.org